

魅力的なテキスト の創り方

2015年4月
株式会社サクセス

テキストからは逃げられない！

ゲームには **ビジュアル** がある！

ゲームには **サウンド** がある！

なるほど、確かにそうですね！

これらの要素はテキストよりも直接的に、
エモーショナルな部分に訴えかけます。

……が！

**アーティスト
「元プリンス」**

(the Artist Formerly Known As Prince)

**＝かっつてプリンスと
呼ばれたアーティスト**

The Artist Formerly Known As Prince

1992年 プリンス → 元プリンス

1992年から2000年まで

彼の名前を**音声で伝えることが不可能**になった。

2000年 元プリンス → プリンス
＼もとに戻った！／

人間は言語によって思考し、
言語によって情報・意志を伝達する。

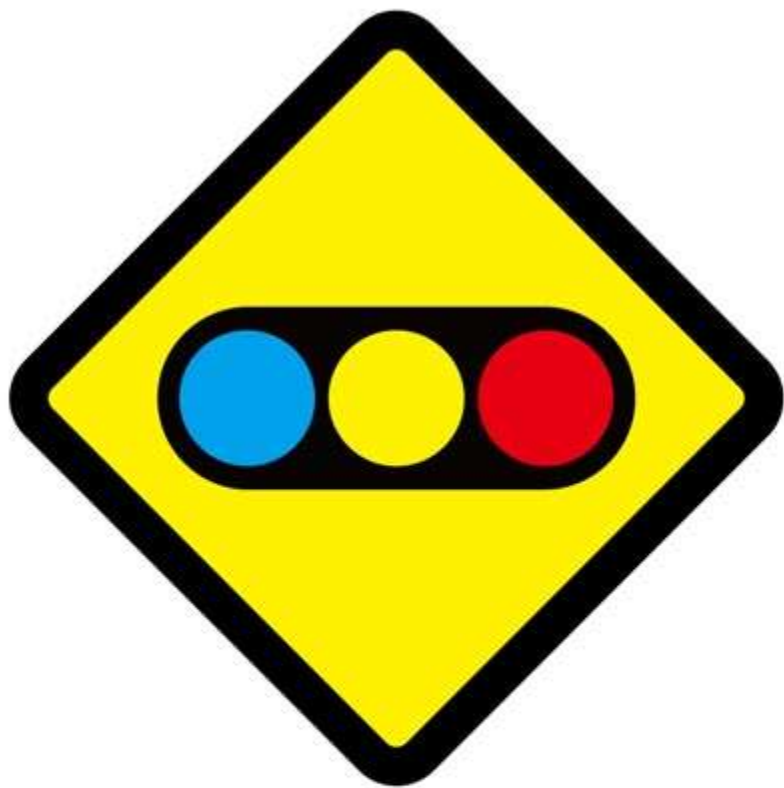
人口に膾炙（かいしゃ）するには
テキストが必要だ！

- ・タイトル
- ・コピー
- ・シナリオ
- ・フレーバー
- ・説明文
- ・告知文……etc

テキストからは逃げられない！

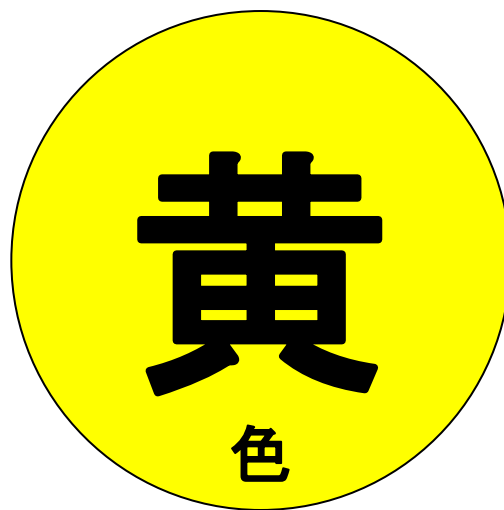
魅力的なテキストとは何か？

- ・ 日常で、非常に良く見る配色ですが.....



**この先
信号機あり**

意識せずに信号機の三色を
「テキストとして」並べると、



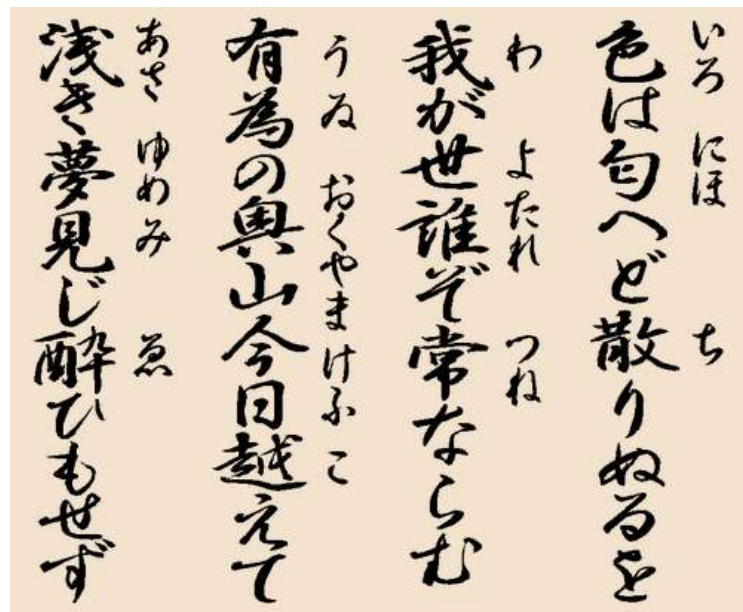
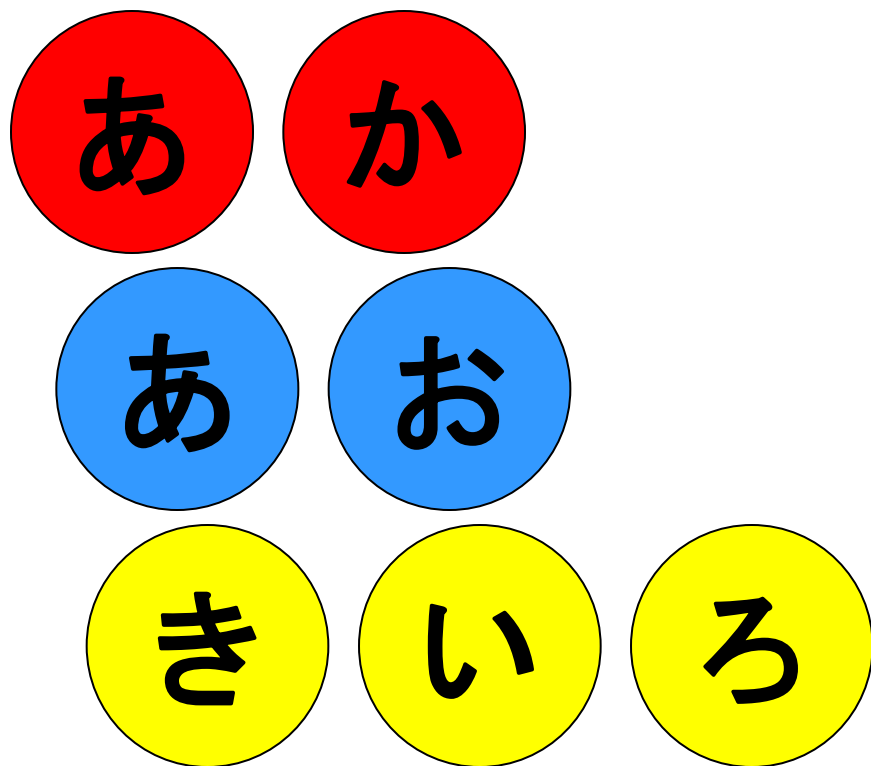
の順番になることが多いと思われれます。
なぜ「赤・青・黄色」の順番なのか？

その並び方に魅力的な
「リズム」
があるからなのだろう！



Point 1 音の並びが持つリズム

標語の多くが「七五調」でつくられているように、リズムのある文章は美しく印象に残りやすい。



「赤・青・黄色」は2-2-3の音節ですが.....

「赤・青・黄色」
テキストの魅力は
リズムだけか？

**「韻」を踏む音は
気持ちがいい！**

西城秀樹：\秀樹、感激♪／

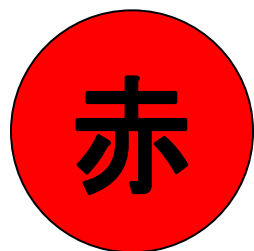
エミネム：\ジャパン、いちばん♪／

Point 2 韻を踏む音の並び

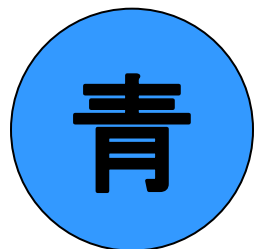
洋の東西を問わず

文学の世界で重要視されているように、

韻を踏んだ音の並びは美しく印象に残りやすい。

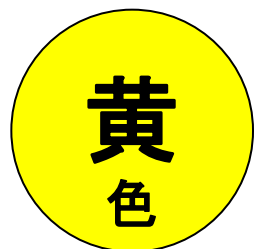


A - KA



A - O

\ 超いい仕事してる青！ /



KI - I - RO

**何か面倒そうな事を
いろいろ語りましたが……**

Point 3 音読して「じっくり」くればOK



なんだかんだ言って
最後は感性の問題です。

実際に声を出さない
「**脳内再生**」でもいいので
作製したテキストは
一度読み上げてみましょう。

推敲にもなります。

250万部を超えるベストセラー
著: 齋藤 孝氏